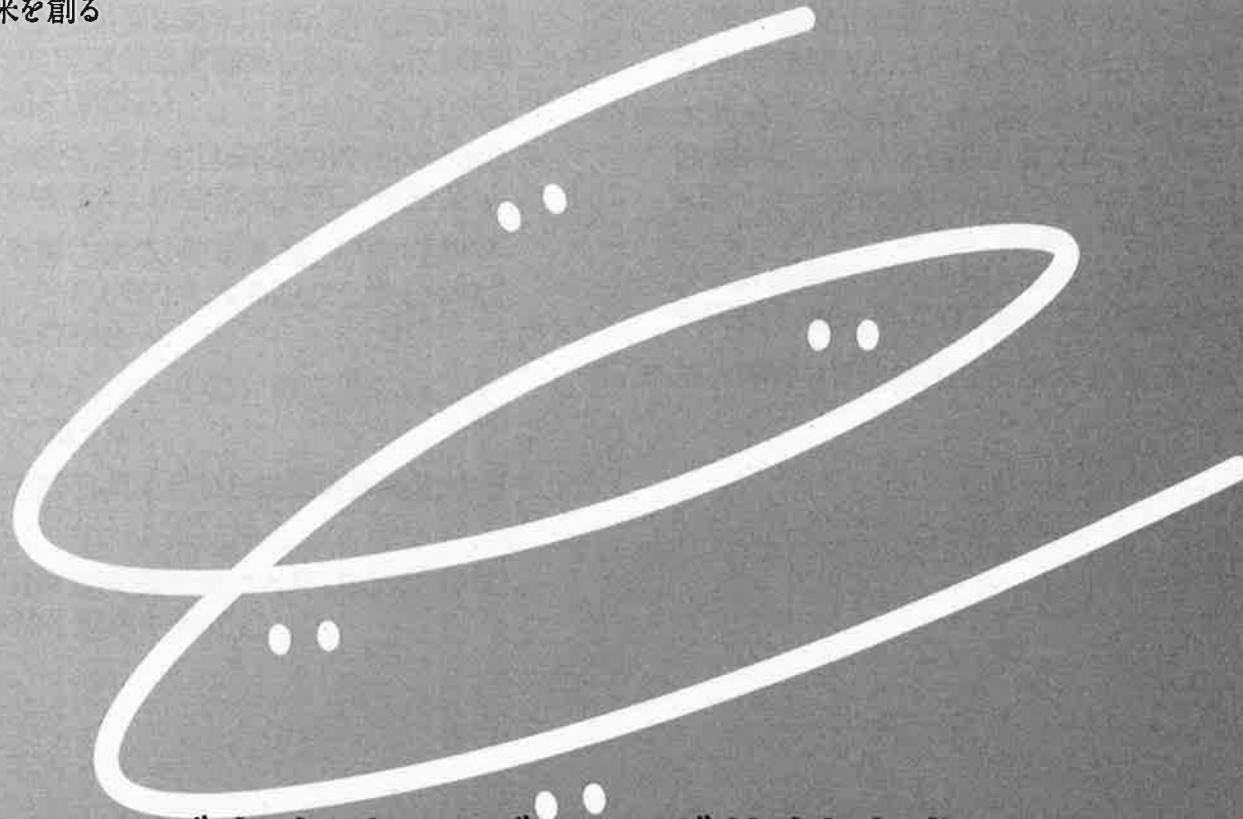




公益財団法人

日本ウェルビーイング財団

ひと社会も地球も
すべての生きとし生けるものが
Wellbeingである未来を創る



第1回 システミックチェンジ志向 ウェルビーイング共創助成
～つながりから創造する未来へ～

公募要領

3. 募集内容

助成対象事業

以下の条件をすべて満たす事業を対象とします。ただし、①～④について、申請時点で完璧に満たされている必要はありません。取り組む具体的な計画がある場合は、将来の実現可能性を勘案します。なお、事業実施対象となる地域は世界各国とします。

- ① 「ひとも 社会も 地球も すべての生きとし生けるもののWellbeingの向上」を目的に、複数分野を横断する統合的なアプローチをとる
- ② 共通目標に対して、行政、企業、NPO、地域住民、研究機関等の多主体が協働（コレクティブ・インパクト）することで、単なる協力関係を超えて価値を創造する取り組み
- ③ テクノロジー（AI、IoT、データプラットフォーム等）の活用による「成果の可視化」や「社会実装」に取り組む
- ④ KPI、アウトカム指標、ロジックモデル等を用いた成果の追跡管理が可能な体制を構築している
- ⑤ 採択後、「当財団が提供する伴走支援の受け入れ」および「助成団体合同の勉強会」への参加に同意できること

応募資格

- 日本国内に拠点を持つ、法人格を有する団体は、単独で応募可能。
（株式会社、特定非営利活動法人、社団/財団法人、学校法人、社会福祉法人、合同会社など法人格の種類は問いません）
- 本助成は、複数かつ多様な団体同士のコレクティブ・インパクトによる協働を促し、これまで難易度が高いとされていた社会課題の解決のスピードを一層加速することを目指しています。そのため、複数の団体によるコンソーシアムでのご応募ができるようになっています。代表団体が法人格を持っていれば、コンソーシアムの構成団体として任意団体や研究者個人が参加することは可能です。
- 法人格のない任意団体や個人事業主は単独では応募できません。

4. 助成金額と対象経費

助成金額等

- 助成総額： 1,000万円
- 想定採択件数： 2～3団体／コンソーシアムを想定
- 助成期間： 1年間（2026年6月～2027年5月）
- その他：
 - 事業の進捗に合わせて最も効果的な資金活用ができるよう、信頼に基づいた柔軟な経費執行を支援します。
 - ※ 助成金取扱規程に則りつつ、助成先事業者の負担を軽減します。具体的には、下記の通り
 - ・ 助成金は、採択後速やかに交付（先払い）します
 - ・ 採択後、経費の組換え自由（ただし、事前事後の報告は必要）
 - ・ 使途の詳細な報告は不要（関係書類の保管と簡易な使途報告は必要）
 - 協賛や助成先への指定寄附等に応じて、上乘せ助成も検討・調整します。
 - ※ 当団体へのご寄附の一部は、寄附金等取扱規程に則り、事業を安定的・継続的に実施するための管理運営費に充当させていただきます
 - 第2回以降の助成総額は、当財団の資金調達額によるため未定です。

対象経費

- 人件費のほか、事業の実施に直接必要な経費（直接事業費）や、組織運営に必要な管理費等（間接事業費）も対象とします。
- 経費項目
 - 人件費
 - 人件費以外
 - ・ 直接事業費（旅費交通費、広告宣伝費、委託費、その他経費）
 - ・ 間接事業費（管理的経費、調査費）
- 対象とならない経費
 - 事業目的に沿わない場合等には下記以外の費用であっても、減額又は対象外となる可能性があります。判断が難しい場合など不明な点がありましたら、事前にご相談ください。
 - ・ ファーストクラス、スーパーシート、プレミアムエコノミー、グリーン車等の特別料金
 - ・ 活動の拠点となる事務所等の設備工事費用、車両等の購入費用
 - ・ 社会通念上、会議費の範囲を逸脱し、接待交際費に当たるもの
 - ・ 個人又は団体に贈与される寄付金、義援金及び贈呈品等
 - ・ 政治団体等への資金供与費に当たるもの
 - ・ 既に完了している事業に係る経費

5. 選考プロセスと基準

選考プロセス

1. 書類選考（一次）

- 有識者で構成される選考委員会が、応募書面を基に審議し、対話セッション対象団体を選定します。

2. 対話セッションおよび最終選考（二次）

- 書類選考を通過した団体と個別に「対話セッション」を行います。対話セッションの結果を基に団体の順位を決定し、選定結果を理事会に申し送ります。
- なお、対話セッション前に、当財団事務局が活動現場を訪問し、活動実態等を把握させていただく場合があります。

3. 最終決定

- 選考委員会の選定結果に基づき、理事会が助成対象団体を決定します。

選考基準

- 「ひと 社会も 地球も すべての生きとし生けるもののWellbeingの向上」につながる取組であることを下記観点で総合的に評価します。また、コミュニティ形成・育成の観点から事業フェーズも勘案して選考します。

1. 事業に取り組む熱い志

- 「ひと 社会も 地球も すべての生きとし生けるもののWellbeingの向上」を、自らの事業を通じて実現しようとする強い意志と内発的な動機を評価します。なぜ「自分たちが」この課題に取り組むのかという使命感や、困難に屈せず挑戦し続ける情熱など事業計画の根幹をなす原動力としての「志」を重視します。

2. 課題解決力と社会実装の可能性

- ウェルビーイング向上を阻む課題への洞察力と、テクノロジー活用を含めた解決アプローチの社会実装の可能性を評価します。特に、表面的な問題だけでなく、その背景にある社会の構造や人々の価値観にまで踏み込んだ洞察力を重視します。

3. ウェルビーイング向上の効果測定力

- 結果/成果の指標の明確性と論理的妥当性、追跡可能性に加え、事業がすべての生きとし生けるものに与える多角的な影響を捉える視点を評価します。

4. 事業の持続性・発展性

- 助成期間だけでなく、助成期間終了後3年後以降を見据えた事業の構想力を評価します。
- コレクティブ・インパクトの実行力として、多様な主体との連携体制の構築・維持・強化に向けた計画性や、共通目標へ導くリーダーシップを評価します。

5. 経営体制の健全性

- 財務健全性、ガバナンス、伴走支援の受入内容の具体性を評価します。自組織の課題を的確に認識し、外部の助けを成長につなげる力も評価します。

■ 加点項目（形式的判断）

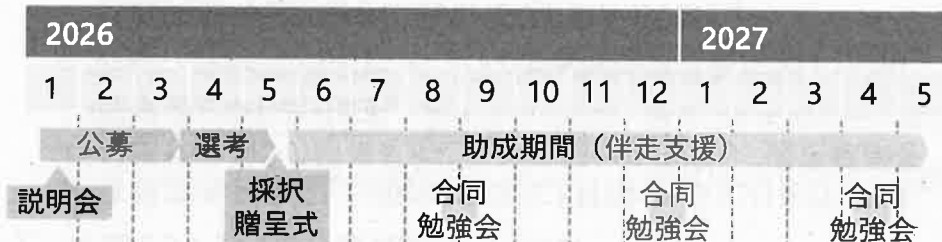
グッドギビングマーク認証の提出

- 申請団体/代表団体が、日本非営利組織評価センター（JCNE）による「グッドギビングマーク」の認証を受けている場合、組織の信頼性・透明性が第三者機関によって確認されているものとみなし、選考において加点します。

6. スケジュールと採択後の関わり

スケジュール

- 公募開始： 2026年1月19日(月)
- 公募説明会： 2026年1月28日(水) 18:00-19:00
- 応募締切： 2026年3月31日(火) 18:00
- 選考期間： 2026年4月～5月
- 採択決定： 2026年5月下旬
- 贈呈式： 2026年6月上旬
- 合同勉強会： 2026年9月頃、2027年1月頃、5月頃を予定



採択後の関わり

- 採択団体の参加イベント
 - 贈呈式（2026年6月上旬を予定）
 - ・ 採択団体同士が顔合わせをする
 - ・ 採択団体が事業計画と抱負を語る
 - ・ 採択団体と伴走支援者が顔合わせをする
 - 伴走支援（月1回以上）
 - ・ 財団職員や外部専門家が定期的なメンタリング・コーチング、各種経営支援等を行い、事業の課題発見・解決に向けて共に取り組む ※後述の助成先の伴走内容例を参照ください
 - 採択団体による合同勉強会（4か月に1度を予定）
 - ・ 実践と成果のメカニズムを解析し、体系化するための学び合いの場
- 助成対象事業を中止又は廃止する場合
 - やむを得ない事情により助成事業を中止または廃止する場合は、必ず事前に当財団へご相談ください。協議の上、それまでの活動実績と経費を報告いただき、助成金を精算いたします。助成金に未使用分がある場合は、原則として返還いただきます。

7. 応募方法、問い合わせ

応募方法

- 当財団ホームページに掲載されている申請フォームに必要事項を記入し、提案書等の必要書類を添付してお送りください
- 応募締切： 2026年3月31日(火) 18:00
 - 締切後は、いかなる理由があっても受付しません
- 選考結果の通知方法
 - 選考結果は、応募団体全てに対し、応募フォームに記載されたメールアドレス宛に電子メールで通知します

問い合わせ

- 応募期間内は、原則、メールで相談等に応じます
- オンライン・ミーティングをご希望の場合は、1時間単位でミーティングを設定します
- 連絡先メールアドレス
 - wb-grant@jwbf.jp